

平成30年度第3回日進市都市計画審議会指摘事項

	意見者	ページ数	意見	回答
1	審議会委員		日進市には中心街がない。10年先、100年先を見据えて、将来的に中心街を含めたまちづくりをするつもりはあるのか。	市役所周辺を拠点とした中心街を形成するまちづくりの計画はございましたが、現在見直しをする方向で検討しております。 市内における自然や商業等の機能別拠点については引き続き検討していきます。
2	審議会委員		日進市都市マスタープランは、首長の交代に関係のない日進のまちづくりの計画であると思うが、例えば道の駅やスマートインターチェンジといった新しいハード面の整備に関して、位置づけはされるものなのか。	道の駅やスマートインターチェンジは本市にとっての重要なシンボルのようなものであり、日進市都市マスタープランに反映させていくべきだと考えています。
3	審議会委員		次期日進市都市マスタープランにおいて、この先10年で市街化調整区域から市街化区域に編入させる計画はあるのか。例えば市役所周辺が挙げられる。	これから作っていく計画であるため、委員の皆様にご審議いただく中で検討していくことになるかと思いますが、市役所周辺を市街化区域に入れる計画は現在のところありません。
4	審議会委員		市役所周辺の市街化調整区域と、その南北に位置する市街化区域との間を結ぶ交通機関が少なく、市民の交流が上手くいかない。自動車、自転車での移動は可能だが、公共交通機関で直接に連動したものがなく、必ずどこかで乗り換ええないといけないという不便性がまだまだ残っていることから、課題の一つと考えている。そういった点も取り入れた日進市都市マスタープランを策定していただきたい。	日進市地域公共交通網形成計画においても、「公共交通を利用して、誰もが安心して出かけられる、交通環境が充実したまち」を日進市の交通将来像として掲げているため、改定においては連携しながら検討を行いたいと考えております。

5	審議会委員	<p>日進市に限らず、東郷町、豊明市等でも交通の南北軸にかかる問題は大きい。経済成長に伴って、名古屋方面、あるいは豊田方面に人口は移動し、高齢者の地域の移動、南北の移動という問題が今ある。したがって、南北軸の検討をしているところであるが、実現できるかどうかは各市町村の協力次第だと思っている。それに向けた都市計画等々も進めていただければと思う。</p>	<p>日進市地域公共交通網形成計画においても、段階的な地域公共交通体系の再編イメージを定義していることから、改定においては連携しながら検討を行いたいと考えております。</p>
6	審議会委員	<p>現行の日進市都市マスタープランの評価はどのようにされるのか。あるいは、もう評価済なのか。 現行の評価は考えずに次期日進市都市マスタープランを策定するという事か。都市マスタープランにおいて方針を示すことは大切だが、一般の方からしたら都市マスタープランとは何か分らず、評価をしないと、作りっぱなしと思われてしまいかねない。現行のものの状況を見て、次の計画に課題として出すことが重要ではないか。現に他市町では評価しているところもあるため、必ずしもできないわけではないと思う。説明責任という意味でも、この2年間で振り返りがあってもいいのではないか。</p>	<p>いわゆる事業計画ではないため、指標で評価するという仕組みが現行の日進市の都市マスタープランにはありませんが、方針に対する評価と達成度で、現行計画の方針の進捗を確認するため、第6次総合計画の策定にむけた各事業の評価を活用し、作業を行いました(資料No.5-6)。現在整理を行っており、今後資料として提示したいと考えております。</p>
7	審議会委員	<p>これから人口フレームについて検討されるということだが、愛知県の都市計画区域マスタープランで出している人口フレームとの整合性はどのようにされるのか。</p>	<p>愛知県では国立社会保障・人口問題研究所の数値を元に人口フレームを出していますが、市の考えで独自に人口フレームを設定している市町もあり、日進市は同時期に策定する総合計画と連動して設定し、進めていきたいと考えています。 愛知県の都市計画区域マスタープランでは、尾張広域圏という1つの枠として人口フレームを設定して</p>

				<p>いますが、市町毎に人口フレームを割り付けると、市街化編入や土地区画整理事業等を受け入れられなくなってしまうといった人口の硬直化が懸念されるため、各市町でどのように人口フレームを設定するかまで固定化すべきではないと考えています。</p>
8	審議会委員		<p>市町関係なく、市街化の拡大も可能ということでしょうか。</p>	<p>お察しのとおりです。</p>
9	審議会委員		<p>国から立地適性化計画策定の話が言われていると思うが、日進市はどのように考えているか。</p>	<p>現在のところ立地適性化計画を策定するかどうかについては未定です。そもそも市の拠点となる日進市役所周辺が市街化調整区域であり、策定すること自体に大きな課題があります。</p>
10	審議会委員		<p>日進市はまだまだ人口が増えるため、居住誘導区域等々に設定する必要はないと思うが、30年後になると人口は減っていくため、先を見据えて立地適性化計画の策定も視野に入れてもいいのではないだろうか。</p>	<p>今後に向けた参考とさせていただきます。</p>
11	審議会委員	資料 5-4 P18- 20	<p>資料の追加をお願いしたい。道路の混雑状況、駅の利用者数、また市外にはなるが、日進市の北側に位置する愛知高速交通東部丘陵線の利用者数に関する資料があると良いのではないか。その他、地区別の転入・転出状況、通学路の未整備状況に関する資料もあると良いと思われる。</p>	<p>資料の収集を行い、可能な限り追記しました。 駅の利用者数については地下鉄赤池駅への集中が見られるほか、東部丘陵線は利用者数の伸びが見られます。 地区別の転入・転出状況は統計資料がないため、地区別の総人口の増減状況を記載しました。また、通学路については設定状況を記載しました。</p>
12	審議会委員	資料 5-4 P2	<p>資料 5-4【日進市都市マスタープラン改定にかかる現況把握】における2ページ目の図：年齢5歳階級別・男女別動向において、25～29歳男性の大幅な人口減少が気になった。どういう理由が考えられるのか。</p>	<p>大学卒業後の就職を機にした市外への転居が主要因と推測しますが、転出届の受理時においてその理由は問わないことまた転出後の追跡調査は難しく、正確な要因の把握は困難です。</p>

13	審議会委員	資料 5-4 P2	資料 5-4【日進市都市マスタープラン改定にかかる現況把握】における2ページ目の図：年齢5歳階級別・男女別動向において、65歳以上の高齢者の人口も気になるが、死亡も含まれるのか。	含まれます。
14	オブザーバー		都市マスタープランについては、日進市らしさを出していく上で、都市景観が重要なものになるのではないかと個人的には理想として持っている。近隣の市町でも景観を重視していこうとする話を聞く。現行の都市マスタープランに記載されている景観がここ10年でどう変化してきたのか、また次の10年に向かってそれをどう捉え、政策的にも一歩踏み出していくのかどうか。是非この場で議論にも是非取り入れていただきたい。	現行計画の評価は現在作業を行っています。改定に向けた参考とさせていただきます。
15	オブザーバー		人口フレームの総合計画との連動性の話が出たが、国立社会保障・人口問題研究所の数値と総合計画の数値の比較をし、その中で社会的要因がどのように変わってきたのか、そういった資料作りがあっても良いのではないかと思う。	第6次総合計画における人口推計が未了のため、今後資料作成の際の参考とさせていただきます。
16	オブザーバー		生産人口年齢減少に伴うインフラのメンテの費用問題、交通の南北軸の問題等の課題において、共同化・共有化の検討がどこまでされるのか、あるいはそういう余地があるのかなのかといった観点もあれば加えて検討してもらえばと思う。	改定に向けた参考とさせていただきます。